

大阪ガスのお問い合わせ先

■大阪リビング営業部

〈お客さまセンター〉

〒550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37

電話 0120-0-94817

■南部リビング営業部

〈お客さまセンター〉

〒590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19

電話 0120-3-94817

■北東部リビング営業部

〈お客さまセンター〉

〒569-8569 高槻市藤の里町39-6

電話 0120-5-94817

■兵庫リビング営業部

〈お客さまセンター〉

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2

電話 0120-7-94817

■京滋リビング営業部

〈お客さまセンター〉

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93

電話 0120-8-94817

※ 受付時間は、平日9:00～19:00、日祝日9:00～17:00となっております。

※ お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。

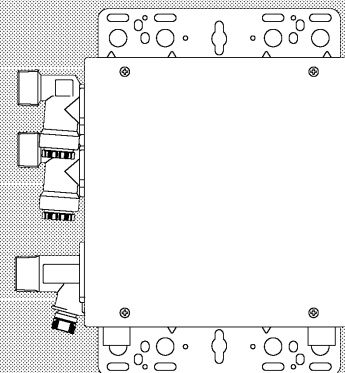
※ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

取扱説明書 保証書付



ソーラー対応ユニット

品名 **138-R812**



ご愛用の皆さまへ

このたびは大阪ガスのソーラー対応ユニットをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご紹介します。

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- 熱源機および太陽熱温水器の操作方法については、それぞれの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- この製品は国内専用です。

も く じ

●安全上のご注意……………	1
●各部のなまえとはたらき……………	3
●使用方法……………	5
●冬期の凍結による破損防止について…	6
●点検・お手入れのしかた……………	8
●故障！とお考えになる前に……………	9
●故障・異常の見分け方と処置方法…	10
●主な仕様……………	11
●アフターサービスについて……………	12
●大阪ガスのお問い合わせ先……………	13
●保証書……………	裏表紙

安全上のご注意

この製品を安全に使用していただくために、下記のことを必ずお守りください。
これらの注意事項は安全に関する重要な内容です。表示と意味は下記の通りです。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡、重傷を負う可能性が想定されるものを示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをした場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される、または物的損害のみの発生が想定されるものを示しています。
お願い	この表示は、この製品を安全・快適に使うためにぜひ理解していただきたいことがらを示しています。

上記に述べる傷害、使用者とはそれぞれ次のようなものをいいます。

傷 害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。
使 用 者：この製品の使用者を想定しています。ただし、使用者は購入者だけでなく、その家族・来客・購入者から製品を譲渡された人なども含みます。

絵表示については次のような意味があります。



警告

工事は資格必要

 このユニットの設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。工事は必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼してください。

改造・分解禁止

 絶対に改造・分解は行わないでください。改造や分解は思わぬ事故や故障の原因となります。

やけど防止のために必ず守ること

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは万一機器の故障の際には、一瞬熱いお湯が出る場合があります。やけどの危険性がありますので、出始めのお湯は手や体につけないでください。
- シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体につけず、湯温を十分に確認してから行ってください。
- シャワー・給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。突然熱湯や冷水が出て、熱湯でやけどをしたり冷水でびっくりすることがあります。



注意

用途について

 太陽熱温水器との接続以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因となります。

アースの確認

 このユニットには、アースが必要です。で確認してください。機器が故障した場合、感電の原因になります。

飲料水として使用しないでください

 水道水と同じ水質が保てなくなる場合がありますので、飲用に用いることは避けてください。

やけどに注意

 太陽熱温水器とこのユニットの接続部は熱くなっていますので触れないでください。やけどのおそれがあります。

お願い

凍結に注意

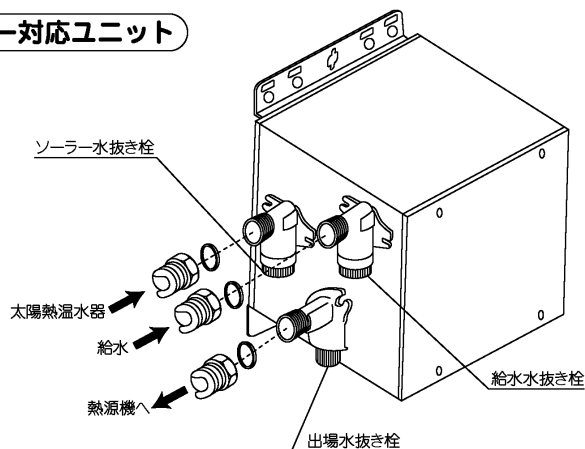
 冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために給湯器本体・太陽熱温水器とともにユニットも凍結予防の処置をお取りください。（6ページ参照）

システム図

※イラストは実際とは異なります。

The diagram illustrates the remote control system for a hot water supply unit. It shows a bathtub (浴槽) connected to a hot water source (熱源機). The system includes a solar hot water supply unit (太陽熱温水器) and a solar element (ソーラー元栓). The hot water source is connected to the bathtub via a hot water line (熱湯配管) and a cold water line (冷水配管). The solar hot water supply unit is connected to the hot water source via a solar hot water line (太陽熱温水器配管) and a cold water line (冷水配管). The solar element is connected to the hot water source via a solar element line (ソーラー元栓配管) and a cold water line (冷水配管). The system also includes a pressure-reducing and backflow-preventing valve (減圧逆止弁) and a solar-compatible unit (ソーラー対応ユニット). The hot water source is connected to the bathtub via a hot water line (熱湯配管) and a cold water line (冷水配管). The solar hot water supply unit is connected to the hot water source via a solar hot water line (太陽熱温水器配管) and a cold water line (冷水配管). The solar element is connected to the hot water source via a solar element line (ソーラー元栓配管) and a cold water line (冷水配管). The system also includes a pressure-reducing and backflow-preventing valve (減圧逆止弁) and a solar-compatible unit (ソーラー対応ユニット). The hot water source is connected to the bathtub via a hot water line (熱湯配管) and a cold water line (冷水配管). The solar hot water supply unit is connected to the hot water source via a solar hot water line (太陽熱温水器配管) and a cold water line (冷水配管). The solar element is connected to the hot water source via a solar element line (ソーラー元栓配管) and a cold water line (冷水配管). The system also includes a pressure-reducing and backflow-preventing valve (減圧逆止弁) and a solar-compatible unit (ソーラー対応ユニット).

ソーラー対応ユニット



はたらき

- 太陽熱温水器のお湯がよく沸いていても、配管中のお湯が冷えていると、使いはじめに熱源機は燃焼します。
- 「おいだき」中の「シャワー・台所・洗面所などの給湯」では、熱源機が燃焼して設定温度のお湯を給湯します。
- ソーラー対応ユニットを接続すると、「ゆらぎのシャワー」はご利用できません。
- 「ぬる湯スイッチ」を押すと、25℃の温度でお風呂に注水します。

使用方法

■熱源機のリモコン運転スイッチ「入」にしてからは……

通常のリモコン操作で、自動的に太陽熱温水器のお湯を使った「シャワー・台所・洗面所などの給湯」「おふろの自動湯はり」「たし湯」ができます。

リモコンの操作方法は、熱源機の取扱説明書を参照してください。

■熱源機のリモコン運転スイッチ「切」のときには……

給湯栓を開くと、ソーラー対応ユニットで太陽熱温水器のお湯と水とを混合して42℃のお湯が出ます。(このとき、熱源機は動作しません。また、42℃は出荷時の設定です)

リモコンの運転スイッチ「切」の場合は……



- 熱源機の「おふろの自動湯はり」「おいだき」等の機能は使用できません。
- リモコンの運転スイッチ「切」の場合の設定温度は「水」「42℃」「60℃」の3つに切替えます。この設定温度を変更したい場合は、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
- 太陽熱温水器のお湯が上記設定温度より低い場合は、熱源機で追加熱できませんので、設定温度よりぬるいお湯が出湯します。

冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域で使いのお客さまも、必ずお読みください。

△ 注意

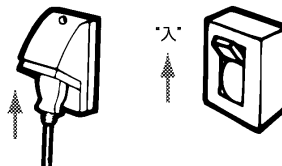


冬期は暖かい地方でも、給水・給湯配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、給湯器本体・太陽熱温水器とともにこのユニットも次のいずれかの処置をお取りください。凍結による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

対策その① 凍結予防ヒータによる方法

- このユニットは、気温が下がってくると凍結予防ヒータが自動的に作動して、ユニット内を保温し、凍結を予防します。このため、下記のことを必ず確認してください。

熱源機の電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？(分電盤の専用スイッチは「入」になっていますか？)



抜けていると作動しませんのでご注意ください！

△ 注意

外気温が極端に低く(−15℃以下)なる日や、それ以上の気温でも風のある日はこの装置では凍結予防ができません。このような場合には対策その2の「水抜きによる方法」を行ってください。

お願い

凍結予防ヒータでは、給水・給湯配管、給水元栓、太陽熱温水器などの凍結予防はできません。必ず保温材または、電気ヒータを巻くなどの処置をしてください。

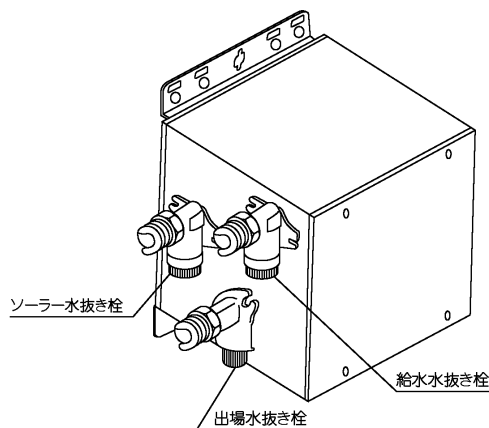
対策その② 機器の水抜きによる方法

- 機器内の水を抜き、凍結予防をする方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときも、必ずこの「水抜き」を行ってください。

冬期の凍結による破損防止について（つづき）

■操作のしかた

1. ユニット・太陽熱温水器の給水配管にある給水元栓が閉まっていることを確認してください。
2. 熱源機の取扱説明書に記載されている「冬期の凍結による破損防止について（水抜きによる方法）」に従って熱源機の水抜きを行ってください。
3. 太陽熱温水器の蓄熱槽内の水抜きを行ってください。（太陽熱温水器の取扱説明書を参照してください）
4. ユニットの**水抜き栓（3カ所）**を開けてください。
5. 熱源機の電源プラグを抜いてください。
6. ユニットの**水抜き栓**からすべて排出されたことを確認したあと、熱源機の電源プラグを再び差し込んでください。
7. 6の操作後、約3分後に熱源機の電源プラグをもう一度抜いてください。

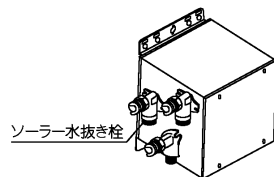


凍 結 し た と き は

- 凍結した場合は、自然に解凍するまで使用しないでください。凍結したまま使用すると、ユニットの故障の原因となります。
- 水が出るようになって、ユニットや配管から水漏れがないかよく確認のうえ、ご使用ください。
- 凍結による故障の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

《 水 抜 き 》 を し た 機 器 を 、 次 に 使 う と き は …

1. ユニットのすべての水抜き栓を開めます。
2. 太陽熱温水器の取扱説明書および熱源機の取扱説明書「冬期の凍結による破損防止について（《水抜き》した機器を次に使うときは…）」に従って操作してください。
3. ユニットのソーラー水抜き栓をゆるめて水が出ることを確認し、そのあと水抜き栓をしっかりと閉めてください。



点検・お手入れのしかた

点検・お手入れの際は、次のことにご注意ください。

- 安全にお使いいただくために、こまめに点検・お手入れを行ってください。
- お手入れは、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。
- フロントカバーなどは決してはずさないでください。

■点検・・・次のことにご注意ください。

- 運転中に機器から異常音が聞こえますか？
- 機器の外観に異常は見られませんか？
- 機器および配管から水漏れはありませんか？
- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。

※定期点検を受ける先が不明の場合や、点検費用などについてはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにお問い合わせください。

■お手入れの方法は

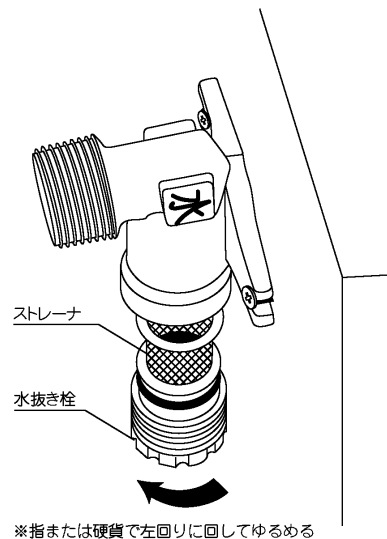
- 機器の表面が汚れたときは、水に濡らしたやわらかな布をかたく絞り、軽く拭き取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンは使わないでください。
- 給水・ソーラー水抜き栓先端の**ストレーナ**にゴミなどが付いているとお湯の量が少なくなります。こんなときは、ユニットと太陽熱温水器の給水元栓を開けてから、給水・ソーラー水抜き栓をはずして、ストレーナに付いているゴミを取り除いてください。特に近くで水道配管工事などがあったときはご注意ください。

※必ず給水元栓を開けてから行ってください。



機器の内部には電気部品が入っていますから、水をかけないようにしてお手入れしてください。機器の故障の原因となります。

お願い



※指または硬貨で左回りに回してゆるめる

故障！とお考えになる前に

■次のような場合は、ココをお調べください。

こんなとき	ココをチェック
お湯（水）が出ない	断水していませんか？
	配管が凍結していませんか？
	太陽熱温水器の給水元栓は開いていますか？
給湯栓を開けると、流量が変化する	配管が凍結していませんか？
	ソーラー元栓は開いていますか？
	太陽熱温水器からの給水はありますか？ （ユニットのソーラー接続口のソーラー水抜き栓をゆるめて、勢いよく水が出れば太陽熱温水器からの給水はあります。）

※以上のことをお調べのうえ、なお異常があるときはお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

■こんなときは故障ではありません。

現象	理由
太陽熱温水器がよく沸いているのに、熱源機が燃焼することがある	できるだけ安定したお湯を出すための制御を行っています。これは故障ではありません。
お湯の量が少ない	太陽熱温水器と接続すると、接続しない場合と比べてお湯の量が減ります。これは、しくみ上、給水圧力が下がるからです。お湯の使用中に、他の場所でお湯を使ったり、お風呂にお湯はりをしたりすると、極端にお湯の量が減ります。故障ではありません。
お湯の温度が高い	熱源機のリモコンで適正な温度に調整してください。 給湯栓から流れ出るお湯が少なすぎるため、熱源機で制御できません。 もう少しお湯を出してください。
ゆらぎのシャワースイッチを押してもお湯の温度が変化しない又は、温度変化量が少ない	太陽熱温水器と接続すると、基本的に「ゆらぎ動作」はできません。ただし、太陽熱温水器からのお湯がよく沸いていない、場所や水の場合には「ゆらぎ」が作動する場合があります。
給水中にお湯の温度が変化する場合があります	太陽熱温水器のお湯を有効に利用するため、使いはじめや太陽熱温水器のお湯切れ時は、お湯の温度が変化する場合があります。

故障・異常の見分け方と処置方法

ユニットが故障すると、熱源機のリモコンの表示画面 時刻表示部に故障表示が点滅します。故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1. お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。
全閉にする



2. 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。
浴室リモコン（フタの中） 台所リモコン 増設リモコン



3. 再び使用してみてください。

●上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。

故障表示	内容
147	ソーラーハイカット異常
317	入水サーミスタ異常
327	混合サーミスタ異常

故障表示	内容
337	ソーラーサーミスタ異常
347	ハイカットサーミスタ異常
357	入水サーミスタ高温異常

故障表示	内容
667	混合サーボ異常

※熱源機によっては、リモコンにユニットの故障表示ができない場合があります。

主な仕様

注) 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

品 名		138-R812
外 形 寸 法 (mm)		高さ214×幅200×奥行205
質 量 (kg)		5
接 続	ソ ー ラ ー	20A (R3/4)
	入 水	20A (R3/4)
	出 湯	20A (R3/4)
	電 源	AC100V (50-60Hz)
消費電力 (W) (50-60Hz)		11 (常時3.5 凍結予防ヒータ作動時33)

アフターサービスについて

■アフターサービス（点検・修理など）を依頼する前に

- 9ページの「故障！とお考えになる前に」の項を見てもう一度ご確認ください。確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - ①製品名 (ソーラー対応ユニット)
 - ②品名 (138-R812)
 - ③故障または異常の内容 (できるだけ詳しく)
 - ④ご住所・お名前・電話番号・道順
 - ⑤訪問ご希望日

■転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 転居・移設にともなう調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。
- ハンゴかけ・ヤグラ組み立てをしなければメンテ作業ができない場所にソーラー対応ユニットを取り付けられますと、作業に危険を伴うことが予想されます。このような場合はメンテをお断りする場合があります。(工事店にご相談ください)

■保証について

- 裏表紙が保証書になっています。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後機器に故障がある場合、一定期間と一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害 (虫や小動物・雑草などの侵入など) による故障は、保証期間内でも有償修理となりますのでご承知おきください。

■補修用性能部品の保有期間について

- この機器の補修用性能部品の保証期間は製造打切後7年です。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
- 別添の「連絡先一覧表」を参照してください。